

2012年(平成24年)3月23日 金曜日

## 人をつなぐ「ミニユーティーカフェ」赤字多く運営に課題

空き店舗などを利用し、高齢者の居場所や子育て中の親の休憩所、趣味の教室など、人と人がつながる地域の拠点として運営される「ミニユーティーカフェ」。「社会に行き場のない人の居場所づくりをやってみたい」という相談を受ける。地域で人の役に立ちながら生きたいと考える人が増えているのは」と「ミニユーティーカフェ全国連絡会(東京)の担当者は話す。

社会問題対応型ビジネスとして関心が高まるが、運営は赤字が目立ち、専門家は支援策の必要性を指摘する。

全国にある常設のコミュニティーカフェは、同連絡会が把握するだけで約1200カ所、うち九州に約10カ所。こうした取り組みに詳しい大分大学福祉科学研究センター教授の椋野美智子さんによると、1998年ごろから増え始めたという。

埼玉県幸手市の団地内商

カフェでは懐メロのBG



埼玉県幸手市にある「元気スタンド・パリズム」。高齢者の笑い声やおしゃべりで店内はにぎやかだ

Mが流れ、月1回の歌声喫茶はほぼ満席。隣接店舗に総菜店も開き、有償ボランティアで団地の女性(65)ら2人が働く。「元気だった？」。高齢者同士のおしゃべりが続く。1人暮らしの

めると利益は出でていない。「継続しないと意味がないので、何とか採算に乗せた

も借り、世代間交流や子育て支援の有償ボランティアの待機事務所を設ける構想ももつ。だが、総菜店を含めると利益は出でていない。それを除くと赤字といふ回答が67・8%に上った。不採算の場合は「自分たちで出し合う」が約6割で、小泉さんも家族の収入で赤字を埋めている状態だ。

椋野さんは「カフェ側の柔軟な運営を損なわない形での資金援助と助成金取得、スタッフ教育などを支援する何らかのサポート体制が必要」と指摘。その上で「大学や農家、芸術家など地域の違った分野の人とつながれることが重要。そこが運営をうまくやるコツであり、成果でもあるはずだ」と話していた。

「もしもあなたが、あと1年のいのちだとしたら」

川村 妙慶著

書名の意味は、重い病に侵されたときの心の対処法といったもので

ではなく、幅広く奥深いもの。「あと1年の命」と宣告されたつもりで、仏の教えを頂きながら生きていこうと語り掛けた言葉。

人生は誰しも自分の思うようにはならず、限ら

れたもの。ただ、日常生活で人はそれを自覚せず、受け入れることも難しい。著者は人生を内面から充実させる多くのヒントを示してくれる。

(PHP研究所・1,336円)

著者は元アナウンサーで、現在は自身のウェブサイトに毎日200通の悩みメールが寄せられる僧侶。親鸞の言葉を引用しながら、日々見落とし

がちな人生の意味や幸せについて、軟らかな言葉で教える。

川村妙慶

「もしもあなたが、あと1年のいのちだとしたら」

川村 妙慶著

書名の意味は、重い病に侵されたときの心の対処法といったもので

「もしもあなたが、あと1年のいのちだとしたら」

人生は誰しも自分の思

女性(90)は「体調などで団地の外へはなかなか行けない。家中にずっといたら認知症になってしまうよ」と笑った。

小泉さんは他の空き店舗も借り、世代間交流や子育て支援の有償ボランティアの待機事務所を設ける構想ももつ。だが、総菜店を含めると利益は出でていない。それを除くと赤字といふ回答が67・8%に上った。不採算の場合は「自分たちで出し合う」が約6割で、小泉さんも家族の収入で赤字を埋めている状態だ。

椋野さんは「カフェ側の柔軟な運営を損なわない形での資金援助と助成金取得、スタッフ教育などを支援する何らかのサポート体制が必要」と指摘。その上で「大学や農家、芸術家など地域の違った分野の人とつながれることが重要。そこが運営をうまくやるコツであり、成果でもあるはずだ」と話していた。